

# デイサービスのリスクマネジメント

－身体介護から送迎までデイのリスクは多様－

新型コロナが5類に移行し、デイサービスもを以前の活発な活動を取り戻しつつあります。しかし、活動が活発になればリスクも多様になります。レクリエーションや外出時の事故から送迎車の降ろし忘れ事故まで、深刻な被害につながる事故は万全の対策が必要です。本セミナーでは、介護事故防止の考え方をご説明し、デイで発生する14の事故事例を使って現場で簡単にできる対策をご紹介します。酷暑にはドライバーの体調不良事故も起きますから、万全な対策を!!!

## セミナーの概要

### 第1部 デイサービスのリスクマネジメント

#### 《1》事故防止活動の基礎知識

- ・新しい事故防止活動に切り替えよう
- ・防ぐべき事故を明確にしよう
- ・事故を正しく評価しよう

#### 《2》デイサービスのリスクと事故防止の具体策

- ・転倒 ・誤薬 ・誤えん ・排泄介助の事故
- ・入浴介助中の事故 ・行方不明事故など

#### 《3》事故発生時の対応

### 第2部 送迎業務のリスクマネジメント

#### 《4》送迎業務の事故防止対策

- ・居宅から送迎車の移動介助中に転倒骨折
- ・居宅の玄関で奥様に介助を任せ転倒
- ・門から玄関まで車椅子が使えず歩かせて転倒
- ・利用者を送迎車から降ろし忘れ熱中症で死亡
- ・デイ来所時に送迎車から降りて来て転倒、など

#### 2. 誤薬事故の防止対策

火曜日は、山本さんという姓の女性の利用者が二人います。お二人とも少し認知症があるので、薬は家族が指定の薬袋に入れて持たせてくれます。ある日介護職が薬をお薬に配置する時に二人の山本さんを取り違えてしまいました。服薬時には利用者の氏名を読み上げてダブルチェックしましたが、二人とも間違っていました。

- 利用者の氏名を読み上げても本人確認はできない  
利用者も薬も写真で確認すれば確実に照合できる

▶ ミスを防止する対策とミスが発生した時チェックする対策  
人は誰でもミスをするから、ミスの発生を防止する対策と同時に、人がミスをした時ミスを発見するチェックの仕組みを作らなければなりません。

●お薬袋に工夫

●薬のチェック

●利用者のチェック



●送迎中の自動車事故

#### 8. 送迎車運行中に利用者が体調急変

あるデイサービスの車の送迎中に、車内の利用者が急変し隣の席の利用者が運転手に異変を伝えました。送迎車の運転手は運転して、デイに携帯で連絡を入れ「救急車を呼んで！」と指示を受けましたが、救急車の要請にも手開きしてしまいました。その後、看護士と相談員が現場に急行し、搬送先の病院を確認して家族に連絡し病院へ向かいました。デイサービスでは「送迎車が来ない」とクレームが入りパニック状態になりました。急変した利用者は救急搬送の遅れで重大な後遺症が残りました。所長は「運転手と職員との連絡・連携が悪かったのでは」と感じました。もっと連携を密にするように」と指示しました。

● 確認のポイント  
連携を密にすれば、迅速に体調急変に対応できるだろうか？

- 一問を争う対応はマニュアル化しなくてはならない



所長が言うようにデイと運転手の連携を密にすれば、もっと迅速に対処できたでしょうか？送迎業務中の自動車事故など想定外のアクシデントへの対応は、全てをマニュアル化していなければ護ちできません。

## 無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時: 2023年7月24日(月) 13:30~15:00
- 主催: 株式会社安全な介護
- 講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費: 無料
- 参加方法: Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)
- 申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(7月17日締切)  
<https://bit.ly/4INDtcJ>  
お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

### 講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。  
2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。  
高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp